

当レポートは11枚組です

【臨時レポート】



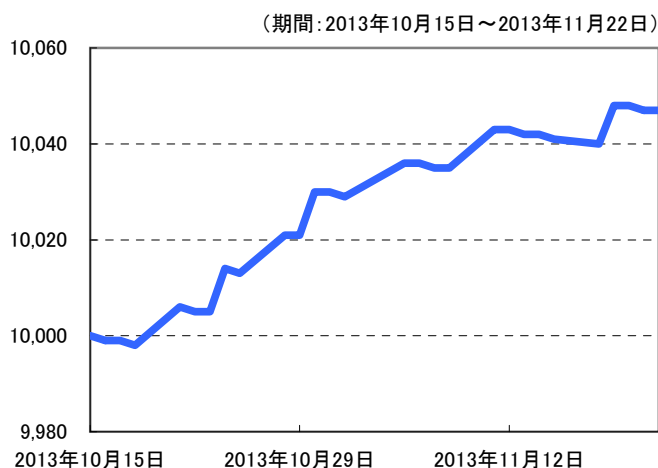
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ【愛称:スマートスター】 設定後の運用状況について

追加型投信/海外/その他資産(バンクロン)

当ファンドは2013年10月15日の設定日以降、市場環境を勘案しつつポートフォリオの構築を進め、下記の通り、当初ポートフォリオの構築をいたしましたので、ご報告申し上げます。

今後ともファンドのパフォーマンス向上をめざし、銘柄の分析・選定に努めてまいります。引き続き「三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ【愛称:スマートスター】」をご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

当ファンドの運用状況(円コース・毎月分配型)



設定日(2013年10月15日)以降の米国市場は、9月の米国の雇用統計が市場予想を下回ったことを受けて量的緩和策が当面継続するとの見方を背景に米国株式などリスク性資産は堅調に推移しました。こうした環境下、当ファンドが投資対象とするバンクロンも緩やかに上昇し、当ファンド(円コース・毎月分配型)の基準価額は設定から2013年11月22日まで0.47%上昇しました。なお、当ファンドにおいては米国の量的緩和策の縮小開始時期を巡り、市場の値動きが大きくなるとの見通しを背景に慎重な投資を行い、現金比率を高め維持しました。10月末時点でのバンクロンの組入比率は対純資産比で80%程度となっています。

今後は、米国景気は住宅や消費を中心に緩やかな回復傾向が続くと見ているものの、構造的な失業問題や企業による投資意欲の低迷などを踏まえると、本格的な回復には時間を要すると予想します。このような環境認識の下、引き続き投資環境を慎重に見極めながら、バンクロンへの投資を行いません。

・基準価額は設定日を10,000として指数化しています。基準価額は信託報酬控除後の値です。

・為替取引等の影響を除いたバンクロンのパフォーマンスをご覧頂くため、円コースの基準価額を掲載しております。

当ファンドが投資している「ピムコ バリュエーター バンクロン ファンド(M)」の運用状況(2013年10月末現在)

※「ピムコ バリュエーター バンクロン ファンド(M)」の運用会社であるピムコ社の資料(現地月末基準)に基づき作成したものです。

ポートフォリオの特性

最終利回り	4.22%
直接利回り	3.64%
デュレーション	0.81年
銘柄数	258銘柄

- ・最終利回りとは、計算日時点の残存期間別の金利水準をもとに個別銘柄の償還日までの基準金利およびクーポンを算出、各銘柄を償還日まで保有した場合の複利利回りを計算し、これを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別銘柄等についての表面利率を資産価格で除し、組入比率に応じて加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価に基づくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションとは、金利の変化に対する資産価格の変動率を示します。

組入資産の格付分布

平均格付	BB-
平均格付とは、基準日時点で当該ファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付ではありません。	
格付種類	比率
BBB格以上	6.6%
BB格	51.5%
B格	39.2%
CCC格以下	2.7%

- ・比率は現金同等資産(米国短期国債等)を除いた、実質組入資産評価額に対する割合を表示しております。
- ・格付の振分基準は以下の通りです。
 - ・BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
 - ・B格(B+, B, B-, B1, B2, B3)
 - ・CCC格(CCC+, CCC, CCC-, Caa1, Caa2, Caa3)
- ・以下の2社の採用格付会社のうち、もっとも高い格付を採用しています。
 - ・スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P)
 - ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス社(Moody's)
- ・上記2社の格付を取得していない場合は、フィッチ・レーティングス社(Fitch)またはピムコ社による独自の格付を採用しております。
- ・先物取引、スワップ取引、オプション取引を考慮して算出しているため、取引内容によってはマイナスの値が表示されることがあります。

■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■資産評価額には、経過利子を含めて(利含み)おります。

・上記各表は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

・上記各見通し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

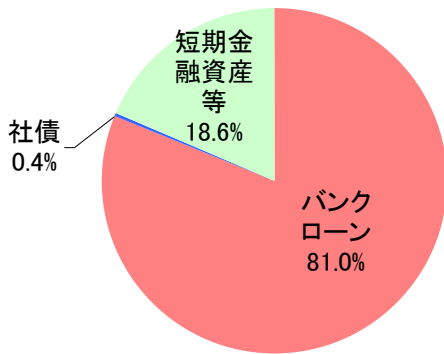
※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ【愛称:スマートスター】 設定後の運用状況について

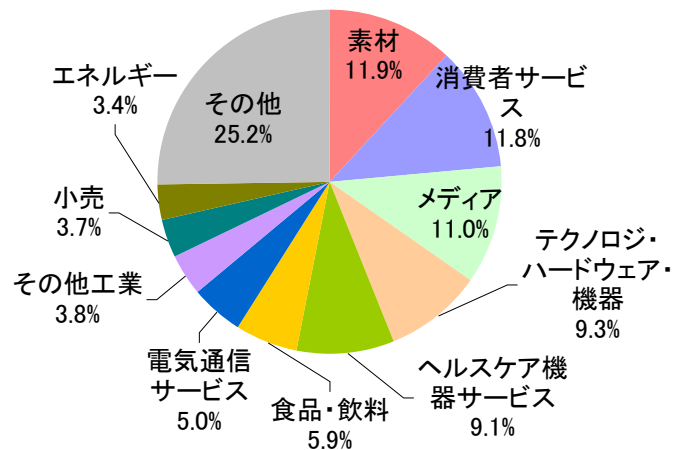
当ファンドが投資している「ピムコ バミューダ バンクロン ファンド(M)」の運用状況 (2013年10月末現在)

※「ピムコ バミューダ バンクロン ファンド(M)」の運用会社であるピムコ社の資料(現地月末基準)に基づき作成したものです。

証券種別構成比率



業種別構成比率



- ・証券種別構成は純資産額に対する比率を表示しております。
- ・業種別構成は現金同等資産(米国短期国債等)を除いた、実質組入資産評価額に対する比率を表示しております。また、業種はピムコ社の分類によります。
- ・四捨五入の関係で上記の数値を合計しても100%にならないことがあります。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 258銘柄)

	銘柄名	証券種別	クーポン	償還日	格付	組入比率	業種分類
1	HJ HEINZ CO TL B2	バンクロン	3.5%	2020/6/5	BB	2.0%	食品・飲料
2	VALEANT PHARMACEUTICALS TL B	バンクロン	4.5%	2020/8/5	BB+	2.0%	医薬品・バイオテクノロジー
3	VIRGIN MEDIA INVESTMENT HLD TL B	バンクロン	3.5%	2020/6/7	BB-	1.9%	メディア
4	CLEAR CHANNEL COMMUNICATION TL B-NEW	バンクロン	3.8%	2016/1/29	CCC+	1.8%	メディア
5	HILTON WORLDWIDE FINANCE LLC TL B2	バンクロン	4.0%	2020/10/25	BB	1.6%	消費者サービス
6	ASURION LLC TL B1	バンクロン	4.5%	2019/5/24	BB	1.5%	その他工業
7	GARDNER DENVER INC TL	バンクロン	4.3%	2020/7/30	B+	1.5%	その他工業
8	HUNTSMAN INTERNATIONAL LLC TL B	バンクロン	3.8%	2020/10/15	BB+	1.3%	素材
9	UNIVISION COMMUNICATIONS TL C1	バンクロン	4.5%	2020/3/1	B+	1.2%	メディア
10	BMC SOFTWARE INC TL (US BORROWER)	バンクロン	5.0%	2020/9/10	B+	1.2%	テクノロジー・ハードウェア・機器

- ・格付はS&P、Moody'sの2社の格付のうち、最も高い格付を使用し、2社の格付を取得していない場合は、Fitchまたはピムコ社独自の格付を採用しております。
- ・組入比率は、現金同等資産(米国短期国債等)を除いた、実質組入資産評価額に対する比率を表示しております。
- ・業種はピムコ社の分類によります。

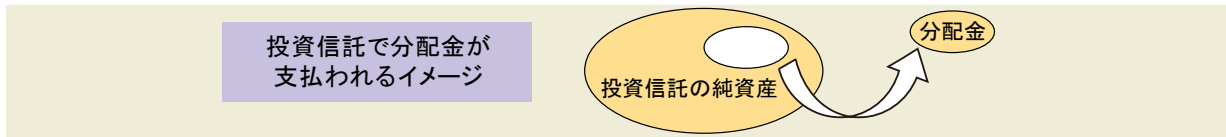
- 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
- 資産評価額には、経過利息を含めて(利含み)おります。

・上記各グラフ・表は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたってのご注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

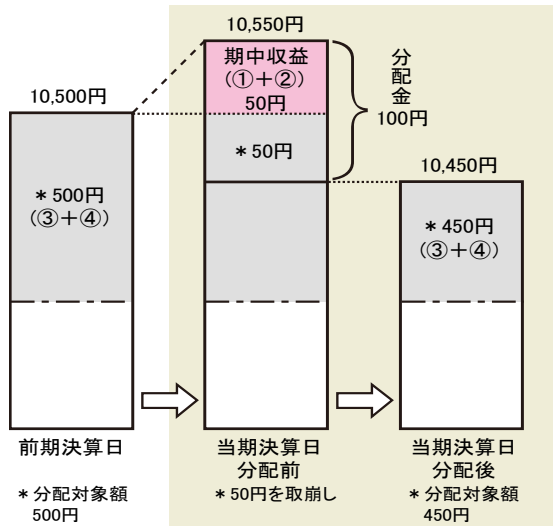


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

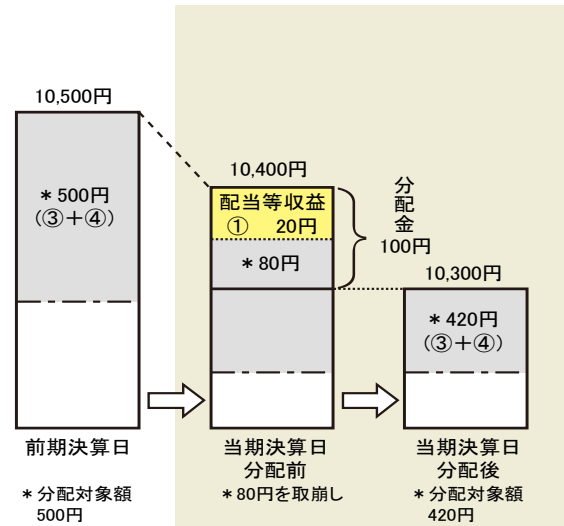
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



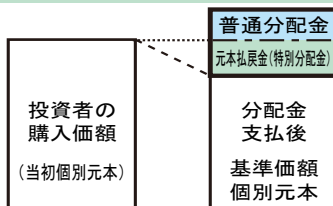
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

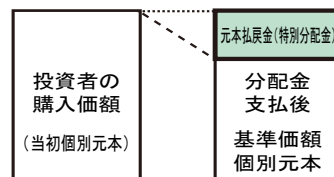
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)

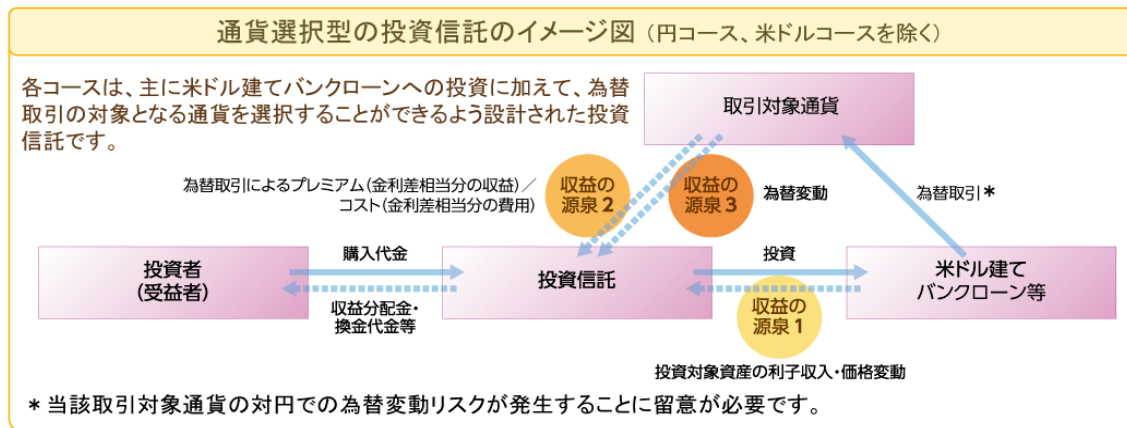


普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

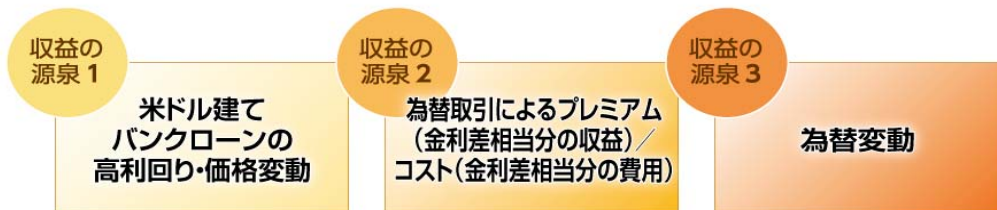
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ



各コースの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



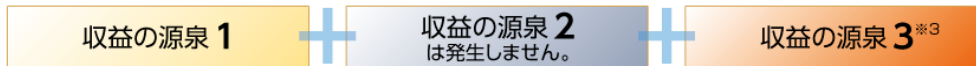
各コースにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。

それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。

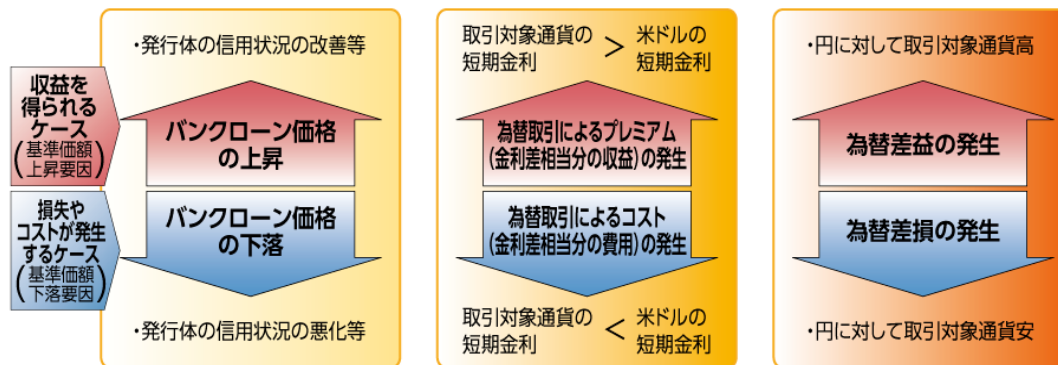
●円コース



●米ドルコース



●豪ドルコース、ブラジルリアルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース、ロシアルーブルコース



※1 円コースにおいては、対円での為替ヘッジによるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）が生じます。

※2 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※3 米ドルコースでは、米ドルが対円で上昇（円安）した場合は為替差益が、米ドルが対円で下落（円高）した場合は為替差損が発生します。

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ【愛称:スマートスター】

ファンドの目的・特色

「三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ」は、7つの通貨コースとマネープールファンドで構成される投資信託です。7つの通貨コースには、それぞれ「毎月分配型」と「年2回分配型」が、マネープールファンドには「毎月分配型」専用のマネープールファンドAと「年2回分配型」専用のマネープールファンドBがあります。

<p>【毎月分配型グループ】</p> <p><円コース>(毎月分配型) /</p> <p><米ドルコース>(毎月分配型) /</p> <p><豪ドルコース>(毎月分配型) /</p> <p><ブラジルリアルコース>(毎月分配型) /</p> <p><メキシコペソコース>(毎月分配型) /</p> <p><トルコリラコース>(毎月分配型) /</p> <p><ロシアルーブルコース>(毎月分配型) /</p> <p><マネープールファンドA> /</p>	<p>【年2回分配型グループ】</p> <p><円コース>(年2回分配型)</p> <p><米ドルコース>(年2回分配型)</p> <p><豪ドルコース>(年2回分配型)</p> <p><ブラジルリアルコース>(年2回分配型)</p> <p><メキシコペソコース>(年2回分配型)</p> <p><トルコリラコース>(年2回分配型)</p> <p><ロシアルーブルコース>(年2回分配型)</p> <p><マネープールファンドB></p>
---	---

※販売会社によっては、取り扱わないコースがある場合があります。詳しくは、販売会社にご確認下さい。

「7つの通貨コース」について

■ファンドの目的

米ドル建てのバンクローン(貸付債権)、公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

- ・主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建てのバンクローン、公社債等に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
- ・投資する米ドル建てのバンクローン、公社債等は、原則として取得時においてCCC一格相当以上の格付けを取得しているものに限り、
*バンクローンとは
銀行等の金融機関が主に投資適格未満(BB格相当以下)の事業会社等に対して行う貸付債権のことで、主に投資適格未満の相対的に信用力が低い企業に対する貸付債権であるため、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して信用力が低い分、相対的に利回りが高くなっています。
同一発行体について比較した場合、バンクローンは一般的に、担保が付さされていて、債券等に比べて債務の弁済順位が高いのが特徴です。バンクローンの利子は主に変動金利となっていて、通常、基準となる短期の市場金利に一定の金利が上乗せされた利子が支払われ、一定期間ごとに見直しが行われます。(上記の格付けは、付加記号を省略して表示しています。)
- ・各コースが投資を行う外国投資信託においては、主に米ドル建てのバンクローンに投資を行う一方で、それぞれ以下の為替対応を行います。
*円コース:原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
⇒「為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益)またはコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
*米ドルコース:原則として対円での為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円での為替変動の影響を大きく受けます。
⇒「為替差益または差損」が生じます。
*上記以外の各コース:対円での為替ヘッジを行わず、米ドル売り、各コースの対象通貨買いの為替取引を行うため、各コースの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。
⇒「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)またはコスト(金利差相当分の費用)」、「為替差益または差損」が生じます。
*為替取引とは、円コース、米ドルコース以外の各コースにおいて、為替予約取引等を利用することにより、米ドル売り、各コースの対象通貨買いを行うことをいいます。為替取引を行うことにより、各コースの対象通貨ベースでのバンクローンへの投資効果を追求します。
*為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。
- ・各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該コースでは「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」の獲得が期待できます。一方、各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該コースでは「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。円コースにおいては、上記同様、対円での為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益)／コスト(金利差相当分の費用)が生じます。
- ・各コースの基準価額は、為替相場が各コースの対象通貨に対して、円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。なお、円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
- ・各コースにおいて、投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。
- ・各コースにおいて、投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会



三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ【愛称:スマートスター】

ファンドの目的・特色

<分配方針>

- ・[毎月分配型]: 毎月の決算時(11日(休業日の場合は翌営業日))に収益分配を行います。初回決算日は2013年11月11日です。また、収益の分配は、原則として第3回決算日(2014年1月14日)から行う予定です。
- ・[年2回分配型]: 年2回の決算時(4・10月の各11日(休業日の場合は翌営業日))に収益分配を行います。初回決算日は2014年4月11日です。分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

<主な投資制限>

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

「マネープールファンド」について

マネープールファンドには「毎月分配型」専用のマネープールファンドAと「年2回分配型」専用のマネープールファンドBがあります。

■ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子等収益の確保をめざします。

■ファンドの特色

- ・ファミリーファンド方式によりマネー・マーケット・マザーファンドを通じて、わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。
- ・毎年4・10月の各11日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。(マネープールファンドの初回決算日は2014年4月11日です。)

<主な投資制限>

- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

「スイッチング」について

■次の2つのグループの中でスイッチングができます。

- *〈毎月分配型グループ〉・・・(「毎月分配型」およびマネープールファンドA)
マネープールファンドAの購入は、「毎月分配型」の各コースからのスイッチングの場合に限定します。
- *〈年2回分配型グループ〉・・・(「年2回分配型」およびマネープールファンドB)
マネープールファンドBの購入は、「年2回分配型」の各コースからのスイッチングの場合に限定します。
- ・〈毎月分配型グループ〉と〈年2回分配型グループ〉の間でスイッチングはできません。
- ・スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。
- ・販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。(次ページに続きます。)

各ファンド(マネープールファンドを除く)

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債等の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債等の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

「円コース」

組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。対円での為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替ヘッジによるコストとなります。

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ【愛称:スマートスター】
投資リスク
市場リスク(前ページから続きます。)
「米ドルコース」

組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、対円での為替変動の影響を大きく受けます。

「豪ドルコース/ブラジルリアルコース/メキシコペソコース/トルコリラコース/ロシアルーブルコース」

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等(バンクローンを含みます。以下同じ。)の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、バンクローンは、公社債と比べ、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

各ファンドは、格付けの低いバンクローンを投資対象としており、格付けの高い公社債等への投資を行う場合に比べ、信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

マネープールファンド
市場リスク
(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

各ファンド(マネープールファンドを除く)

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・金融危機の発生等により、バンクローン等の市場流動性が極端に低下した際には、委託会社の判断により、購入・換金の申込みを中止することがあります。

マネープールファンド

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ【愛称:スマートスター】
手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※マネープールファンドAの購入は、「毎月分配型」からのスイッチングによる場合、マネープールファンドBの購入は、「年2回分配型」からのスイッチングによる場合に限りです。 ※ファンドの基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	各ファンド(マネープールファンドを除く) ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2013年の該当日は11月11日、11月28日、12月25日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	各ファンド(マネープールファンドを除く) 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の購入・換金の制限、流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。 マネープールファンド 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2018年10月11日まで(2013年10月15日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回るようになった場合、または<毎月分配型グループ>について、<毎月分配型グループ>の受益権の口数を合計した口数が50億口を下回るようになった場合および<年2回分配型グループ>について、<年2回分配型グループ>の受益権の口数を合計した口数が50億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 各ファンド(マネープールファンドを除く) 投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。 マネープールファンド マネープールファンドAは、「毎月分配型」がすべて償還する場合には繰上償還となります。マネープールファンドBは、「年2回分配型」がすべて償還する場合には繰上償還となります。
決算日	「毎月分配型」 毎月11日(休業日の場合は翌営業日) ※第1回目の決算日は2013年11月11日 「年2回分配型」/マネープールファンド 毎年4・10月の各11日(休業日の場合は翌営業日) ※第1回目の決算日は2014年4月11日
収益分配	「毎月分配型」 毎月の決算時に分配を行います。(収益の分配は、原則として第3回決算日(2014年1月14日)から行う予定です。) 「年2回分配型」/マネープールファンド 年2回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。(2014年1月1日以降)

三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ【愛称:スマートスター】
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

各ファンド(マネーボールファンドを除く)
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額× 3.15%(税抜 3%) (上限) 販売会社にご確認ください。
--------	---

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額× 年1.7325%(税抜 年1.65%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、投資対象とする投資信託証券における諸費用等を信託財産からご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.15%(税込)の例～

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×3.15%=31,500円となり、合計1,031,500円をお支払いいただくこととなります。

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ【愛称:スマートスター】
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

マネープールファンド
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	ありません。
--------	--------

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	設定日から2013年10月31日まで 純資産総額 × 年0.0315% (税抜 年0.03%) 2013年10月以降の毎月の最終営業日(委託会社の営業日をいいます。以下同じ。)の翌日から、翌月の最終営業日まで 純資産総額 × 年0.5775% ~ 0.0105% (税抜 年0.55% ~ 0.01%) 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
------------------	---

その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
----------------	--

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



